

スリナム月間情勢報告（２０２２年７月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

７月のスリナム内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

１．概況

- 政府の政策に反対する多くの抗議行動が発生、サントキ大統領は、デモ隊の代表者と話しあう準備があると述べるとともに、ラムディン外相等の閣僚から成るチームを構成し、社会の様々なグループへの聞き取りを指示。これら閣僚らは、内閣への面会を希望した団体や組織、あるいは特別な希望や不満を持つグループとの対話を行う予定。
- 米投資銀行（オッペンハイマー銀行）とスリナム政府は約８億米ドルの債務のリスクについて交渉しており、両者の距離は縮まってはいるが合意には至っていない。
- 第４３回カリコム首脳会合がスリナムで開催。地域が直面する課題に立ち向かう革新的なアプローチという重要なメッセージを発出した。
- スリナム政府は、安倍元総理の死去に関連し、日本政府および国民に哀悼の意を表した。

２．内政

（１）新型コロナウイルス

- （１５日報道）国内でこれまでに少なくとも約５０万７千回分のワクチンが接種されている。１人が２回接種すると仮定すれば、人口の約４４％が接種したことになる。

（２）その他の内政

- （１８日報道）国民民主党（NDP）は、最近の財務省職員による大規模な不正行為に関連し、アハイバシン財務相の即時辞任を要求。
- （１９日報道）独立広場とその周辺で、政府の政策に反対する多くの抗議行動が行われた。サントキ大統領は、デモ隊の代表者と話しあう準備がある、平和的デモの権利は政府によって認められており、それは全ての民主主義国家によって尊重されるべきものであると述べた。
- （２１日報道）サントキ大統領は、ラムディン外相等の閣僚から成るチームを構成し、社会の様々なグループへの聞き取りを指示。同チームは、内閣への面会を希望した団体や組織、あるいは特別な希望や不満を持つグループとの対話

を行う予定。

●（21日報道）サントキ大統領は、閣僚、監督委員会、その他の上級職のさらなる配置転換について、後日ブランズウィック副大統領と会談する予定である。

●（26日報道）連立与党（VHP、ABOP、NPS、PL）は25日に会合を開き、最近の抗議行動などを含む国内政治情勢につき議論した。

●（28日報道）サントキ大統領は7月末に政府要職の人事刷新を行うと述べたが、ブランズウィック副大統領は、刷新は見送られると述べた。同副大統領の弟は多くの要職についており批判が出ているが、同副大統領は、「この時期に刷新すると、批判を受けて政府が人を入れ替えたように見える、いずれ落ち着いたら可能性を検討する」と述べた。この副大統領の発言は、彼の弟が多くの役職を放棄することを示唆している。

●（29日報道）12月8日刑事事件の控訴審が開始され、ボータッセ元大統領を含む5名の容疑者が、裁判の審議を受ける。

3. 経済

●（3日報道）サントキ大統領は、エネルギーサミットで、スリナムは豊富な天然ガスの埋蔵量を有しており、ガイアナ、トリニダードと共に地域が必要とする肥料を提供することが可能であると述べた。

●（5日報道）エネルギー庁は、カリコム再生可能エネルギー及びエネルギー効率化センター（GREEE）と地域協力の可能性を協議した。

●（6日報道）ユニセフは、災害管理センター（NCCR）に対し20万ユーロを支援した。

●（7日報道）韓国は、洪水被害への支援として、カリブ災害緊急管理庁（CEDEMA）を通じて5万米ドルを寄付した。

●（7日報道）公共事業局インフラ災害対策チームは、カナダより洪水被害を受けたブロコポンド地域支援のための寄付を受領した。

●（13日報道）12日、ベネズエラのアルバ・アリメントス事業を通じた支援を受けて完成した、ニューアムステルダムの水産物燻製場の開所式が実施され、セウディエン農業・畜産・漁業相、クルディプシン経済・起業・技術革新相らが出席。

●（14日報道）アハイバシン財務相は今週、オッペンハイマー債権者の代表団と会談。会談は非開示条項に基づき内容は明らかにされていないが、引き続き議論は継続される。

●（17日報道）世界銀行は、スリナムのGDP成長率は21年に1.9%低下したものの、22年は0.1%増加する予測である一方、政府支出の増加に伴い、政府債務は対GDP比132.9%に上昇したと推定。成人の識字能力、男女平

等、乳幼児死亡率の低下といったSDG指標の多くで進展があったと報告。人間開発指標は189か国中97位。

●（19日報道）アハイバシン財務相は議会において、財務省職員が関与した約46百万スリナムドル（約2百万米ドル）の不正事案における調査状況を報告。中央銀行に対する6月27日の不審な支払注文を受けて財務省が調査した結果、4月、6月に計約40百万スリナムドルの偽造注文が財務省のシステム外からなされていたことが発覚。犯罪捜査が実施され、1月にも約6百万スリナムドルが中央銀行から財務省職員に送金されていたことが判明。

●（20日報道）19日、スリナムの農業、食料安全システム強化に係るブラジル、チリ、スリナムの3か国間技術協力のもと、農業研究、マーケティング、生産等に関する4日間の研修が農業・畜産・漁業省で実施され、ブラジル及びチリの専門家がスリナムを訪問。

●（24日報道）統計局の暫定値によると、消費者物価は過去1か月で9.1%上昇し、過去12か月間のインフレ率は55.1%である。

●（25日報道）米投資銀行（オッペンハイマー銀行）とスリナム政府は約8億米ドルの債務のリスクについて交渉しており、両者の距離は縮まってはいるが合意には至っていない。

●（31日報道）サントキ大統領とブランズウィック副大統領が太陽光発電所の開所式に出席。このプロジェクトは、カリブ開発銀行（CDB）の融資によるもので、この融資による国内3件目の案件。発電所は920枚のソーラーパネルで構成され、総発電能力は300キロワット（kW）、バッテリー容量は250キロワット時（kWh）。

4. 外交

●（2、4日報道）サントキ大統領との会談で、グテーレス国連事務総長（カリコム首脳会合に参加のためスリナムを訪問）は、持続可能な開発を達成するためにスリナムと国連のより緊密な協力が重要であると述べた。また、スリナムが国土の93%の森林を維持保全していることを称えた。

●（4日カリコム報道）第43回カリコム首脳会合がスリナムで開幕し、地域が直面する課題に立ち向かう革新的なアプローチという重要なメッセージを発出した。また、ベネズエラのペトロカリブプログラムの再開も議論された。

●（8日報道）スリナム政府は、安倍元総理の死去に関連し、日本政府および国民に哀悼の意を表した。

●（8日報道）ラムディン外相は、ハイチに関する第4回国際閣僚・パートナー会議を開催し、ハイチの最も緊急なニーズに対応するために、国際的な支援を倍増し、国際的な支援を調整することの重要性について議論する。

転電《添付無》カリコム、米国、マイアミ（了）